

第2回審議会における資料要求事項について

事務局

1. 岩出町に近い自治体の下水道計画・普及状況について

岩出町と人口規模や産業構造が比較的近い自治体のうち、公共下水道の計画面積や計画人口が岩出町のもの（1,420ha、60,000人）と比較的近い20市町を抽出したものを別紙に示します。

全国的に見ると、この条件に該当する市町村は中大都市の近郊市町が中心です。また、岩出町公共下水道と規模の近い計画の大半は昭和40～50年代に事業着手しているため、普及率の高い市町が多く、平成に入ってから供用開始したのは5市町でした。

下水道料金は岩出町平均の25m³/月で試算してみたところ、1,750円～4,487円の範囲でした。

受益者負担金は5市町で徴収されておらず、それ以外では全て地積割で徴収されています。

排水設備改造支援制度については、大半の自治体で貸付金制度がありますが、利子補給については自治体によって差があります。また補助制度を採用しているのは5市町で、4千円から3万3千円の範囲でした。

2. 町内の合併浄化槽普及状況について

平成17年度に生活環境課において、各家庭のし尿などの汲み取り状況を調査した資料を基に、下水道課で計数したところ下記の様な状況でした。

種別	軒数	比率 (%)	備考
汲み取り	5,275	39.6%	
単独浄化槽	2,259	17.0%	
合併浄化槽	4,226	31.7%	
集合処理浄化槽	695	5.2%	紀泉台・桜台など
不明	865	6.5%	
合計	13,320	100%	

これは建物別にし尿などの収集状況を調べたデータから集計したものであるため、①店

舗や事務所が含まれている、②集合住宅内の戸数が反映されていない、③不明家屋がある（収集実績無し？）などの問題点がありますが、概ねの傾向としては合併浄化槽と集合処理浄化槽を合わせて4割程度の世帯に合併浄化槽や集合処理浄化槽が普及していると考えられます。

3. 下水道への住民要望について

平成11年度に、第4次岩出町長期総合計画策定のための住民意識調査が実施された際、「今後重要な施策について」の項で下水道の整備が49%と最も高い結果が出ています。また、平成13年度に和歌山県で実施された「和歌山県政に関する世論調査」においては「今後推進すべき公共土木事業」として下水道事業が道路事業に次いで2位（54.1%）となっています。

岩出町と類似都市の下水道料金・受益者負担金について

都道府県	市町村名	計画処理面積 (ha)	計画処理人口 (人)	事業着手	供用開始	普及状況		下水道料金(1ヶ月換算)			受益者負担金		排水設備改造支援制度			備考
						面積普及率 (%) ^{※1}	人口普及率 (%) ^{※2}	基本料金	料金通増	25m ³ /月 の料金	算定方式類型	算定方式	貸付金制度	補助制度 ^{※3}	その他	
北海道	登別市	1,765	59,700	S57	H2	51.4%	80.0%	8m ³	有	4,446	地積割	525円/m ²	融資あっせん 利子補給	1年以内 1~3.3万円		
北海道	北広島市	1,594	58,300	S45	S47	87.2%	95.1%	10m ³	有	3,060	地積割	280~490円/m ²	無利子貸付	無し		
宮城県	塩竈市	1,290	62,000	S33	S37	86.7%	97.5%	600円	有	4,305	地積割	170~350円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		
宮城県	多賀城市	1,425	63,100	S48	S53	93.9%	98.5%	10m ³	有	2,572	地積割	200円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		
宮城県	富谷町	1,068	43,800	H1	H4	94.3%	86.0%	10m ³	有	2,940	地積割	200円/m ²	無し	無し		
茨城県	守谷市	2,038	67,300	S50	S56	81.4%	95.5%	525円	有	3,360	地積割	150~780円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		
東京都	清瀬市	1,019	69,000	S51	S56	83.4%	99.8%	10m ³	有	2,168	地積割	350円/m ²	融資あっせん 利子の1/2補給	3年以内 0.5~1万円		
神奈川県	寒川町	776	50,210	S49	S59	88.0%	88.1%	8m ³	有	4,487	徴収無し		融資あっせん 利子補給	3年以内 0.4~3.2万円		
福井県	敦賀市	1,332	52,300	S49	S58	65.8%	65.7%	10m ³	有	2,073	地積割	318円/m ²	融資あっせん 利子補給	3年以内 15,000円		
長野県	諏訪市	1,656	50,970	S49	S54	81.2%	90.3%	10m ³	有	3,606	地積割	230円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		
滋賀県	栗東市	1,719	55,089	S49	S57	76.0%	93.7%	10m ³	有	2,525	地積割	200円/m ²	融資あっせん	無し		
京都府	京田辺市	1,239	58,900	S54	S61	69.2%	88.2%	10m ³	有	1,750	徴収無し		融資あっせん	無し		
大阪府	大阪狭山市	1,031	68,860	S43	S45	82.4%	99.9%	10m ³	有	2,226	徴収無し		無利子貸付	無し		
兵庫県	龍野市	1,547	33,558	S47	H6	97.7%	85.1%	10m ³	有	2,415	地積割	700円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		現たつの市(H17.10合併)
兵庫県	赤穂市	2,000	52,080	S49	S56	72.4%	93.6%	10m ³	有	2,289	地積割	453~521円/m ²	有利子貸付	無し		
兵庫県	小野市	1,728	45,650	S54	H2	85.1%	83.9%	10m ³	有	2,310	地積割	540円/m ²	融資あっせん	無し		

岩出町と類似都市の下水道料金・受益者負担金について

都道府県	市町村名	計画処理面積 (ha)	計画処理人口 (人)	事業着手	供用開始	普及状況		下水道料金(1ヶ月換算)			受益者負担金		排水設備改造支援制度			備考
						面積普及率 (%) ^{※1}	人口普及率 (%) ^{※2}	基本料金	料金通増	25m ³ /月 の料金	算定方式類型	算定方式	貸付金制度	補助制度 ^{※3}	その他	
山口県	下松市	1,162	46,300	S28	S53	82.5%	70.9%	10m ³	有	2,835	地積割	250円/m ²	融資あっせん 利子補給	無し		
山口県	光市	1,105	43,040	S53	S61	63.9%	68.2%	10m ³	有	3,622	徴収無し		融資あっせん 利子補給	無し		
福岡県	太宰府市	1,337	67,402	S52	S57	93.0%	95.0%	840円	有	4,252	地積割	263円/m ²	融資あっせん	無し		
福岡県	那珂川町	885	55,000	S62	H8	67.8%	88.1%	10m ³	有	4,200	徴収無し		融資あっせん	3年以内 20,000円		

●計画値・普及率は平成15年度版下水道統計より引用、下水道使用料・受益者負担金・排水設備改造支援策は自治体ホームページなどから引用

※1:(処理面積)／(計画面積)

※2:(処理区域内人口)／(行政人口)

※3:生活保護世帯・高齢者世帯などへの助成制度は省略

第4次岩出町長期総合計画策定のための

住民意識調査報告書

平成12(2000)年1月

岩 出 町

目 次

(1) 調査の概要	1
1. 調査の目的	
2. 調査方法	
3. 調査項目	
4. 調査期間	
5. 回収状況	
6. 回答者の属性	
問1 属性	
(性別・年齢・家族構成・職業・勤務地又は通学地・通勤通学の方法 ・居住地区・住宅形態・居住年数・前住所・定住意向とその理由)	
(2) 調査結果	
問2 町の施策・事業に対する満足度について	13
問3 今後整備・充実して欲しい施設について	23
問4 環境施策について	23
問5 高齢化対策について	25
問6 住民福祉について	25
問7 健康づくりについて	26
問8 子どもを育てる環境づくりについて	26
問9 生涯学習について	27
問10 産業の振興について	27
問11 町役場について	28
問12 広域的な行政運営について	28
問13 町の将来像について	29
問14 今後重要な施策について	31
問15 将来の市制施行の人口規模について	32
問16 町の誇りや自慢などについて	32
(参考) 前回意識調査との比較	34
自由記入	40
調査結果のまとめ	41
資料 アンケート票	44

(2) 調査結果

問2 町の施策・事業に対する満足度について

町の施策・事業に対してどの程度満足しているかを把握するため、43項目について「十分満足している」から「非常に不満である」までの5段階で回答してもらった。満足度または不満度が35%を超えている項目を示すと次のようになっている。

【満足度が高い項目】

満足度（「十分満足している」と「まあ満足している」の合計）が35%を超えている項目を挙げると次のようになる。

「上水道の整備」 50%
「母子保健・成人病予防等の対策」 37%

【満足度が低い項目】

不満度（「すこし不満である」と「非常に不満である」の合計）が35%を超えている項目を挙げると次のようになる。

「道路網の整備」 58%
「下水道の整備」 54%
「公共交通基盤の整備」 53%
「公園・緑地の整備」 47%
「企業の誘致」 44%
「市街地の整備」 39%
「特産品の開発」 36%
「観光・商工の振興」 35%

問2-ア 下水道の整備

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
a. 十分満足している	52	3.7%					
b. まあ満足している	189	13.5%					
c. どちらともいえない	341	24.4%					
d. すこし不満である	268	19.2%					
e. 非常に不満である	490	35.0%					
f. 不明・無回答	59	4.2%					
g. 合計	1399						

問2-イ 上水道の整備

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
a. 十分満足している	169	12.1%					
b. まあ満足している	531	37.9%					
c. どちらともいえない	435	31.1%					
d. すこし不満である	145	10.4%					
e. 非常に不満である	52	3.7%					
f. 不明・無回答	67	4.8%					
g. 合計	1399						

問2-ウ 市街地の整備

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
a. 十分満足している	23	1.6%					
b. まあ満足している	230	16.4%					
c. どちらともいえない	525	37.5%					
d. すこし不満である	366	26.2%					
e. 非常に不満である	183	13.1%					
f. 不明・無回答	72	5.2%					
g. 合計	1399						

問2-エ 良好な住宅対策

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
a. 十分満足している	20	1.4%					
b. まあ満足している	193	13.8%					
c. どちらともいえない	716	51.2%					
d. すこし不満である	277	19.8%					
e. 非常に不満である	117	8.4%					
f. 不明・無回答	76	5.4%					
g. 合計	1399						

問2-オ 公園・緑地の整備

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
a. 十分満足している	22	1.6%					
b. まあ満足している	214	15.3%					
c. どちらともいえない	437	31.2%					
d. すこし不満である	403	28.8%					
e. 非常に不満である	249	17.8%					
f. 不明・無回答	74	5.3%					
g. 合計	1399						

問14 今後重要な施策について

町の将来像を実現していくための重要な施策は、「下水道の整備」が最も多く49%であり、次いで「道路の整備」が42%、「自然環境の保全」が35%と続いている。

問14 今後重要な施策

選択肢	件数	(%)	20	40	60	80	100
1. 自然環境の保全	489	35.0%					
2. 公園の整備	274	19.6%					
3. 都市景観の整備	120	8.6%					
4. 住宅の整備	97	6.9%					
5. 駅前周辺地区の整備・再開発	330	23.6%					
6. 道路の整備	588	42.0%					
7. 公共交通機関の整備	417	29.8%					
8. 情報(ニューメディア)政策の推進	35	2.5%					
9. 下水道の整備	688	49.0%					◎
10. 上水道の整備	72	5.1%					
11. 農業の振興	72	5.1%					
12. 商業の振興	57	4.1%					
13. 特産品の育成	92	6.6%					
14. 大企業の誘致	253	18.1%					
15. 地元中小企業の育成	97	6.9%					
16. 消防・防災対策の充実	67	4.8%					
17. 交通安全対策の充実	128	9.1%					
18. 環境施策の推進	94	6.7%					
19. 防犯対策の充実	187	13.4%					
20. 医療施設の整備	393	28.1%					
21. 保健医療対策の充実	289	20.7%					
22. 福祉対策の充実	350	25.0%					
23. 長寿社会環境の整備充実	221	15.8%					
24. 女性政策の推進	31	2.2%					
25. 人権擁護施策の充実	22	1.6%					
26. 同和対策の推進	14	1.0%					
27. ボランティア活動の推進	76	5.4%					
28. 教育・生涯学習環境の整備	142	10.2%					
29. 大学の誘致	113	8.1%					
30. 青少年の健全育成	191	13.7%					
31. 文化・芸術の振興	57	4.1%					
32. 文化施設の整備	94	6.7%					
33. 歴史的遺産の保全	85	6.1%					
34. スポーツの振興	85	6.1%					
35. コミュニティの振興	16	1.1%					
36. 国際交流の推進	53	3.8%					
37. 情報公開制度の充実	77	5.5%					
38. 行政改革の推進	98	7.0%					
39. 地方分権の推進	17	1.2%					
40. その他	17	1.2%					
41. 不明・無回答	399	28.5%					
42. 合計	6995						

過去の調査との比較 (町民意向調査結果 昭和63年度)

「救急病院や休日・夜間診療病院の充実」が最も多く87%で、次いで「公共交通機関の充実」が66%、「高齢者生きがい対策、就労対策の充実」が65%、「道路の整備」が64%、「老人福祉施設の整備」が61%、「下水道の整備、ごみ収集、し尿処理などの環境対策」が58%、「大学や専門学校の誘致」が56%と続いている。

平成 13 年度

和歌山県政に関する世論調査

目 次

1. ふるさと和歌山
2. 暮らしや福祉について
3. 県政についてのご意見
4. あたらしいふるさとづくり

この調査は、県民が県政にどのような関心や期待を持っているかを的確に把握し、今後の施策立案の資料とすることを目的に実施しました。

調査の設計は以下のとおりです。

- (1) 調査地域 和歌山県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 抽出台帳 選挙人名簿
- (6) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (7) 調査期間 平成13年10月4日～10月21日
- (8) 回収結果 1,478人(73.9%)
- (9) 調査機関 社団法人 新情報センター

調査結果のみかた

- 比率は、質問の回答者を100%として算出しました。
質問の回答者数は図表中の(n)で示された数です。
- 図表中の「-」は、回答者がひとりもないという意味です。

● 今後推進すべき公共土木事業

「道路事業」「下水道事業」の推進が上位

公共土木事業のうち今後も推進していく必要があると思われる事業では、「道路事業(高速道路や、地域をつなぐ道路など混雑解消のためや歩行者の安全対策を行う事業)」と答えた人が 62.0%と最も多く、次いで「下水道事業(快適な環境を図るため、汚水の排除、水洗化といった河川・海などの水質保全を図る事業)」(54.1%)が続き、以下、「街路事業(市街地において新しく道路を建設したり、狭い道路を拡幅し、交通渋滞の緩和や、歩行者の安全を図る事業)」(30.2%)、「公園事業(憩いの場や、レクリエーションの場、都市景観や災害時の避難地などの緑とオープンスペースを確保する事業)」(25.4%)の順となっている。

図表 今後推進すべき公共土木事業

